

令和 6 年度 福島大学基金研究推進事業助成による成果報告書

2024 年 5 月 31 日

学 長 殿

所属部局・職名
(所属・学年) 共生システム理工学研究科 1 年

申請者名
(学会参加助成の場合は参加者名)

照井里奈

助成の区分 (該当するものに○)	学会参加助成・学術出版助成・学術論文掲載料等助成
事業名	第 42 回日本生理心理学会大会
成果の概要	本大会のテーマは、「美とイノベーションの生理心理学」であった。生成 AI など科学技術の急速な発展により、人々の生活や心の在り様も大きく変わっている。変化の激しい時代に生きる人々の不安を払拭し、生活や心を豊かにするためには科学技術だけではなく、美を感じるといった感性も重要である。本大会では、「美しさ」に焦点を当て、生理心理学的なアプローチをした研究発表が多く、研究手法であったり、研究結果が実生活にどのように生かされるかなど、非常に学びの多い学会だった。私は、「化粧カウンセリングが自信に与える効果の検討」というタイトルでポスター発表を行った。はじめに、実験の「目的」～「考察」までのおおまかな流れを端的かつわかりやすく説明し、その後、各大学の先生方や企業の方が「なぜこのような結果になったのか。」「なぜこのような手法を取ったのか。」「この結果から何が言えるのか。」など、あらゆる視点からの意見や疑問などを投げかけられた。その質問に応答したり、逆にどのように考えているかなどの質問を投げかけることで、有意義なディスカッションをすることができた。今回が初めての学会発表であったが、どのように研究してそれを発表することの大切さを実感することができた。